

中国思想専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 Semester	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国思想概論	中国思想史概説1:南北朝まで	2	渡部 東一郎	3	前期 木曜日 3講時	
中国思想概論	中国思想史概説2:隋唐以後	2	齋藤 智寛	4	後期 火曜日 1講時	
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級1	2	齋藤 智寛	3	前期 火曜日 1講時	
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級2	2	渡部 東一郎	4	後期 木曜日 3講時	
中国思想各論	中国中世仏教の学術と実践	2	齋藤 智寛	5	前期 月曜日 3講時	
中国思想各論	明末から清代中期に至る道教(全真教)と士大夫知識人	2	森 由利亜	集中(6)	集中講義	
中国思想演習	中国中世思想文献精読	2	齋藤 智寛	5	前期 月曜日 5講時	
中国思想演習	中国近世思想文献精読	2	齋藤 智寛	6	後期 月曜日 5講時	

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 3講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：渡部 東一郎

コード：LB34301, 科目ナンバリング：LHM-PHI202J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想史概説1：南北朝まで
2. Course Title (授業題目)：Introduction to the History of Chinese Thought 1：Up to the period of the Northern
3. 授業の目的と概要：多様な思想が開花した春秋・戦国時代に始まり、秦・漢王朝による学術の統一を経て、仏教に対する理解の進展と道教の確立によって儒・仏・道三教が出揃い、受容や対立の様相を呈した南北朝時代までの中国思想史を概説する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course outlines the history of Chinese thought, beginning with the Spring and Autumn period and the Warring States period, when diverse ideas flourished, through the unification of learning by the Qin and Han dynasties, to the period of the Northern and Southern Dynasties, when Confucianism, Buddhism, and Taoism came together and were accepted by and confronted with each other due to the development of understanding of Buddhism and the establishment of Taoism.
5. 学習の到達目標：春秋・戦国時代から南北朝時代に至る、諸思想の内容と史的展開について理解することができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The students will be able to understand the content of various schools of thought and the historical development of thought from the Spring and Autumn period and the Warring States Period to the period of Northern and Southern Dynasties.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
[授業内容・方法]
各回のテーマについて配布資料を元に解説していく。
[進度予定]
 1. 導入
 2. 春秋・戦国1：『論語』に見る孔子の思想
 3. 春秋・戦国2：『老子』と『荘子』の思想
 4. 春秋・戦国3：『墨子』の思想
 5. 春秋・戦国4：『孟子』と『荀子』の思想
 6. 春秋・戦国5：『韓非子』の思想とその他の諸子百家の思想
 7. 前漢1：漢初の思想
 8. 前漢2：『淮南子』と董仲舒の思想
 9. 後漢1：桓譚『新論』と王充『論衡』の思想
 10. 後漢2：儒教経典の整理と政治思想について
 11. 魏晉1：魏晉の玄学1
 12. 魏晉2：魏晉の玄学2
 13. 南北朝1：南朝梁の学術と思想
 14. 南北朝2：南北朝時代の仏教と道教1
 15. 南北朝3：南北朝時代の仏教と道教2
8. 成績評価方法：
中間レポート(50%)、期末レポート(50%)。
9. 教科書および参考書：
毎回の授業始めにプリントを配布する。参考書は授業中に紹介する。
10. 授業時間外学習：配布プリントを読み直すとともに、紹介した参考書を積極的に読み、レポート作成に備えること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
特になし。

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

Semester：4 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB42101, 科目ナンバリング：LHM-PHI202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想史概説 2：隋唐以後

2. Course Title (授業題目)：Introduction to the History of Chinese Thought 2：After the period of the Sui-Tang dynasties

3. 授業の目的と概要：7 世紀以後、20 世紀までの中国思想史を概観する。仏教と道教の隆盛を経て儒家思想の再生がなされた隋唐時代に始まり、朱子学と陽明学、考証学を高峰とする近世の思想、西洋思想との接触により伝統の再編がなされた近現代の思想について、原典の日本語訳を材料に解説する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course provides an overview of the history of Chinese thought from the 7th century onward through the 20th century. Beginning with the Sui and Tang dynasties, which saw the revival of Confucian thought after the rise of Buddhism and Daoism, and continuing through the early modern period, with Zhu Zi School, Yang Ming School, and philology of Qing dynasty as the high peaks, to modern and contemporary thought, in which contact with Western thought led to a reorganization of tradition, will be explained using Japanese translations of original texts as material.

5. 学習の到達目標：中国隋唐時代（7 世紀）から近現代に至る、諸思想の内容と史的展開について理解することができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：The students will be able to understand the content of various schools of thought and the historical development of thought from the Sui-Tang period(7c.) to the period of modern and contemporary.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

[授業内容・方法]

各回のテーマについて配布資料を元に解説する。

[進度予定]

1. 導入
2. 唐代初期の思想と学術
3. 中晩唐士大夫の思想 1
4. 中晩唐士大夫の思想 2
5. 隋唐時代の仏教と道教
6. 北宋の思想
7. 朱熹と朱子学の思想
8. 両宋期の仏教と道教
9. 金元の思想と宗教
10. 明代の思想 1：王守仁と陽明学の思想
11. 明末の思想 2：明末の思想
12. 清朝の思想と学術
13. 中国近代の思想
14. 20 世紀後半の中国語圏における思想と学術
15. まとめ

8. 成績評価方法：

中間レポートまたは小テスト(50%)、期末レポート(50%)。

9. 教科書および参考書：

毎回の授業始めにプリントを配布する。参考書は授業中に紹介する。

10. 授業時間外学習：紹介された参考書は出来るだけ読むこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB32105, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級 1

2. Course Title (授業題目)：Reading of Chinese Philosophical Classics, Elementary 1

3. 授業の目的と概要：句読点と訓点が施された中国思想文献を読む。漢文の基本的な語法に習熟すると共に、思想文献特有の思惟方法や表現形式に慣れるのが目的である。テキストとしては、日本の江戸期の学者・岡白駒による『蒙求箋注』を予定している。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students will read Chinese thought literature with punctuation and marks of Kun-doku. The purpose of this course is to familiarize the students with the basic grammar of Chinese writing, as well as with the methods of thought and forms of expression peculiar to Chinese thought literature. The text will be "Mogyu Senchu 蒙求箋注" by Oka Hakku, a Japanese scholar of the Edo periods.

5. 学習の到達目標：訓点を頼りに中国思想に関する漢文文献を読むことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Able to read Chinese literature on Chinese thought by relying on the punctuation marks.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 漢文基礎文法 1
3. 漢文基礎文法 2
4. 漢文基礎文法 3
5. 『論語集説』読解 1
6. 『論語集説』読解 2
7. 『論語集説』読解 3
8. 『論語集説』読解 4
9. 『論語集説』読解 5
10. 『論語集説』読解 6
11. 『論語集説』読解 7
12. 『論語集説』読解 8
13. 『論語集説』読解 9
14. 『論語集説』読解 10
15. 『論語集説』読解 11

8. 成績評価方法：

予習状況と討論での発言状況 (100%)

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

10. 授業時間外学習：辞書を引き、訓読と現代日本語訳を準備すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 木曜日 3講時

Semester：4 単位数：2

担当教員：渡部 東一郎

コード：LB44301, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級2

2. Course Title (授業題目)：Reading of Chinese Philosophical Classics, Elementary 2

3. 授業の目的と概要：道家の代表的書物の一つである『莊子』から、老莊折衷の傾向が見られるとされる外篇・知北遊篇を取り上げ、輪読していく。読解作業を通して思想系の文献に特徴的な思惟方式や表現形式に慣れるとともに、中国古典文全般に対する基礎的読解力を培う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：From the Zhuangzi, one of the most representative books of the Taoists, the students in this class will take up as texts and read in rotation the "Knowledge Rambling in the North" section of Outer chapters, which are said to show a tendency to blend the ideas of Laozi and Zhuangzi. Through the reading work, they will be able to become familiar with the modes of thought and expression characteristic of thought-related literature, as well as develop basic reading comprehension skills for Chinese classical literature in general.

5. 学習の到達目標：思想系の文献に特徴的な思惟方式や表現形式に慣れるとともに、中国古典文全般に対する基礎的読解力を向上させることができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：The students will be able to become familiar with the modes of thought and forms of expression characteristic of thought-related literature, as well as develop basic reading comprehension skills for Chinese classical literature in general.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

〔授業内容・方法〕

授業は、あらかじめ割り当てられた範囲について担当者が訓読と現代語訳、注解を発表し、それを全員で討論する形で進める。

〔進度予定〕

1. 導入

2. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解1
3. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解2
4. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解3
5. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解4
6. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解5
7. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解6
8. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解7
9. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解8
10. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解9
11. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解10
12. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解11
13. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解12
14. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解13
15. 『莊子』外篇・知北遊篇 読解14

8. 成績評価方法：

発表の内容(50%)、討論への参加度(50%)。

9. 教科書および参考書：

初回授業時にプリントを配布する。参考書は授業中に紹介する。

10. 授業時間外学習：発表担当者でなくとも、辞書等で調べ、訓読と現代日本語訳を準備した上で授業に臨むこと。また、授業後に十分な復習を行うこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

特になし。

科目名：中国思想各論／

曜日・講時：前期 月曜日 3講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB51203, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世仏教の学術と実践
2. Course Title (授業題目)：Scholarship and practice of Chinese medieval Buddhism
3. 授業の目的と概要：中国中世の仏教について、学術の形式や思想活動の場、信仰と実践、また史学や医学、文学などの文化全般との関わりに注意しながら考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course Chinese medieval Buddhism will be discussed, paying attention to their academic forms and sites of intellectual activity, rituals and practices, as well as their relationship to culture in general, including history, medicine and literature.
5. 学習の到達目標：中国中世における仏教の諸相について基本的な理解を得る。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：To gain a basic understanding of the various aspects of Chinese medieval Buddhism.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. 導入
 2. 仏典翻訳と偽経、経録1
 3. 仏典翻訳と偽経、経録2
 4. 一切経の作成と伝承
 5. 注疏と語録の成立
 6. 仏教史学の諸相
 7. 山林仏教と禅宗の成立1
 8. 山林仏教と禅宗の成立2
 9. 具足戒と大乘戒
 10. 士大夫の仏教信仰1
 11. 士大夫の仏教信仰2
 12. 正統から逸脱した実践
 13. 異民族と仏教
 14. 女性にとっての仏教
 15. まとめ
8. 成績評価方法：

レポート(100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は講義中に紹介する。
10. 授業時間外学習：紹介された参考書や原典は出来るだけ読んでみることに。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国思想各論／

曜日・講時：後期集中 その他 その他

Semester：6 単位数：2

担当教員：森 由利亜

コード：LB98809, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明末から清代中期に至る道教（全真教）と士大夫知識人
2. Course Title (授業題目) : Daoism (Especially Complete Perfection School) and Literati from Late Ming to Mid-Qing China.
3. 授業の目的と概要：明末期から清朝中後期にかけて、道教の一部とされる全真教に「龍門派」と称する派が顕著な活動を示すようになる。そこには、当時の士大夫層が積極的に道教の信仰世界や倫理体系の中に参与しようとしていた動きを見て取ることができるのである。明末から清朝の乾隆・嘉慶年間にかけては、儒教的な文脈から思想の変化を検討することは盛んに行われてきた。また仏教と儒教の関係については荒木見悟の研究がよく知られている。しかし、この時代に道教と士大夫の関係についてはこれまでほとんど研究がなされていない。この授業では、ごく初歩的かつ部分的ではあるが、明末から道光年間に至る頃までの全真教を中心とする道家と士大夫の関係についての考察を述べてみたい。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : From the late Ming to the late-mid-Qing period, a religious lineage called the "Longmen Lineage" became prominent in Quanzheng, or Complete Perfection School, which is one of the major traditions of Daoism in China. In this period, we can see the active participation of the literati of the time in the religious world and ethical system of Daoism. So far, concerning the time from the end of the Ming dynasty to the Qianlong and Jiaqing era of the Qing dynasty, it has been active to examine changes in thought from a Confucian context. The relationship between Buddhism and Confucianism is also well known namely in the work of Araki Kengo. However, very little research has been done on the relationship between Daoism and the literati during this period. In this class, I would like to discuss, albeit very rudimentary and partial, the relationship between Daoists and literati, centering on Quanzhen Daoism, from the end of the Ming dynasty to the period of Daoguang era in the Qing dynasty.
5. 学習の到達目標：受講生が、明末から清朝にかけての士大夫の宗教的関心の広がり的一端に興味をもち、従来とは異なる視野からこの時代の思想を考える糸口を見つけることを目指す。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : The aim of the course is to interest students in some aspects of the spread of the religious interests of the literati during the late Ming and Qing dynasties, and to find clues for thinking about the ideas of this period from a different perspective than
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第一回 概要の説明
 - 第二回 道教の基礎知識 (1)
 - 第三回 道教の基礎知識 (2)
 - 第四回 道教の基礎知識 (3)
 - 第五回 『道蔵』と蔣予蒲 (1755-1819) の『道蔵輯要』(1)
 - 第六回 『道蔵』と蔣予蒲 (1755-1819) の『道蔵輯要』(2)
 - 第七回 伍守陽 (1574-1643) の内丹法と全真教龍門派の自己認同 (1)
 - 第八回 伍守陽の内丹法と全真教龍門派の自己認同 (2)
 - 第九回 朱元育と潘易庵の内丹法と龍門派の自己認同 (1)
 - 第十回 朱元育と潘易庵の内丹法と龍門派の自己認同 (2)
 - 第十一回 王常月 (1594-1680?) の戒律改革と全真教龍門派 (1)
 - 第十二回 王常月の戒律改革と全真教龍門派 (2)
 - 第十三回 閔一得 (1735-1836) と龍門派の自己認同 (1)
 - 第十四回 閔一得 (1735-1836) と龍門派の自己認同 (2)
 - 第十五回 閔一得 (1735-1836) と龍門派の自己認同 (3)
8. 成績評価方法：
 - 平常点 (20 パーセント) レポート (80 パーセント)
9. 教科書および参考書：
 - 教科書はありません。参考書は授業時に紹介します。[We don't use text book. Recommended readings will be introduced in class]
10. 授業時間外学習：参考資料を事前配布した際には、それらに一通り目を通していただきます。[When reference materials are distributed in advance, you will be asked to read through them.]
11. 実務・実践的授業/Practical business
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
 - 《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB51501, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世思想文献精読
2. Course Title (授業題目)：A Reading of Chinese Medieval Thought
3. 授業の目的と概要：唐・孔穎達 (574-648) 等撰『礼記正義』礼運篇を会読する。各版本を参照し、阮元校勘記の成績を検証しながら、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course is a reading of the chapter of The Conveyance of Rites (禮運), from the Right Meaning of the Ritual Records (禮記正義) edited by Kong Yingda (孔穎達) and other scholars at Tang period. The aim of the course is to cultivate the ability to produce accurate translations of Chinese thought literature, while paying attention to the different edition and examining the revision of Ruan Yuan (阮元).
5. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳を作成できる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Be able to read and understand original source materials on Chinese thought and produce accurate Japanese translations.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1、導入
 - 2、『礼記正義』会読 1
 - 3、『礼記正義』会読 2
 - 4、『礼記正義』会読 3
 - 5、『礼記正義』会読 4
 - 6、『礼記正義』会読 5
 - 7、『礼記正義』会読 6
 - 8、『礼記正義』会読 7
 - 9、『礼記正義』会読 8
 - 10、『礼記正義』会読 9
 - 11、『礼記正義』会読 10
 - 12、『礼記正義』会読 11
 - 13、『礼記正義』会読 12
 - 14、『礼記正義』会読 13
 - 15、まとめ
8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況 (100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。
10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB61501, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世思想文献精読

2. Course Title (授業題目)：A Reading of Chinese Early Modern Thought

3. 授業の目的と概要：南宋・朱熹（1130-1200）の文集『朱文公集』を選読する。朱熹の思想形成にも留意しながらその著作を読むことを通して、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to provide students with the opportunity to read the several works by Zhuxi (朱熹) which are recorded in the Collected works of Zhu Wengong (朱文公集). The aim of this course is to cultivate the ability to produce accurate translations of Chinese thought literature, reading Zhuxi's works paying attention to development of his thought.

5. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳を作成できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Be able to read and understand original source materials on Chinese thought and produce accurate Japanese translations.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1、導入

2、『朱文公集』会読 1

3、『朱文公集』会読 2

4、『朱文公集』会読 3

5、『朱文公集』会読 4

6、『朱文公集』会読 5

7、『朱文公集』会読 6

8、『朱文公集』会読 7

9、『朱文公集』会読 8

10、『朱文公集』会読 9

11、『朱文公集』会読 10

12、『朱文公集』会読 11

13、『朱文公集』会読 12

14、『朱文公集』会読 13

15、まとめ

8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況（100%）

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。

10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし